
**松田町まち・ひと・しごと創生
人口ビジョン・総合戦略 改訂(案)等**

平成 29 年 3 月

神奈川県 松田町

基本目標Ⅰ 松田町への夢や期待に応える住環境づくり

【目標】

本町は、都市機能が集積し、利便性の高い松田地区と、美しく豊かな自然に囲まれた寄地区の異なる住環境（魅力）を有します。

交通の至便性や、都心に近い立地、豊富な自然環境の強みと併せて、定住化に向けた施策を効果的にPRすることで、女性の目線からも町のブランド力を高めるとともに町有地などを含む未利用地の積極的、計画的な土地利用を図ります。特に、定住化に向けて呼び込むターゲット（若い子育て世帯等）を明確にし、町内の既存空家などの活用も図りつつ、整備手法も民間の資金・ノウハウを取り入れながら実施していくものとします。

女性活躍コンパクトシティ

●数値目標：平成 27～31 年の5年間における社会移動数（＝転入者数－転出者数）

基準値（国の推計）▲227人 ⇒ 目標値（町将来目標）▲92人

※基準値は、国立社会保障・人口問題研究所で推計した平成 27～31 年までの 5 年間における社会移動数の人口で、目標値は同期間内で松田町人口ビジョンにおける目標人口を達成するために想定している社会移動数

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

◎具体的な施策において、「目標人口を実現するために効果的な施策」及び「松田町の顔（らしさ）となる施策」については「ゴシック体」で記載しています。

① 住まいづくり〔夢が膨らむ住まいづくり〕

・ 未利用地となっている町有地・施設の有効活用に向けた方策の検討を官民連携等の手法を念頭に進め、魅力ある住まいづくりに向けた積極的な土地活用を図ります。

●この土地活用は、他の項目にある地域産業の振興や雇用確保等を誘引する位置づけを想定しています。

女性活躍コンパクトシティ

・ 松田町まちづくり条例の基本理念などに基づき、自然景観に調和した良好な民間住宅地開発を誘導・促進するとともに、公園や遊び場など交流の場づくりを進めます。

・ 町民や時代のニーズに対応して「住んでみたい」と思われる公営住宅の整備などを進めます。

・ 地元不動産等と連携しながら空家バンク情報を充実していくとともに、空家の改修やリノベーションを多様な主体と連携して進め、付加価値を創造した中で積極的な活用を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成 31 年度)
官民連携等の手法による公共用地・施設の 整備・活用件数	—	H31 年度までに 4 箇所整備
空家の利活用物件数	H26 年度 1 件	10 件
新築住宅の完成戸数	H26 年 55 戸	H31 年 60 戸

女性活躍コンパクトシティ

②定住支援 【期待に応える定住支援】

- ・本町への移住・定住化を促進するため、継続して住宅取得促進事業や二世帯同居等支援事業に取り組んでいくとともに、新制度の研究・実行・周知を進めます。
- ・町内の民間賃貸住宅の居住者への家賃補助事業に取り組み、定住支援を推進します。
- ・**地元不動産業者や金融機関等と連携を図りながら、住宅の取得や維持に向けた様々な支援を進めます。**

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成 31 年度)
住宅取得促進事業申請件数	H27 年度 31 件	50 件
民間賃貸住宅家賃補助事業申請件数	—	15 件

基本目標Ⅱ 若い世代が安心して、 子どもを産み育てられる環境づくり

【目 標】

全国的に子育てを取り巻く環境は厳しさを増し、少子化が加速度的に進行していますが、本町においては、妊娠から出産、育児まで切れ目なく支援する体制づくりに取り組んでいます。

主な取り組みでは、小児医療費助成、特定不妊治療費助成、水道料金助成など、町独自の子育て世帯への経済的な負担軽減や、保育所・学童保育・子育て支援センター等の施設の充実を継続していくとともに、「子育てしやすい町」というイメージの定着が図れるよう積極的な広報戦略を展開します。

また、地域やさまざまな主体と連携し、ICT・英語などの特色ある教育環境を整え、対外的に発信するとともに、松田町への愛着と誇りを醸成するような教育施策を推進します。

●数値目標：合計特殊出生率

基準値(平成 25 年度) 1.09 ⇒ 目標値(平成 31 年度) 1.23

※基準値は、平成 25 年度の本町の合計特殊出生率で、目標値は松田町人口ビジョンにおける人口将来展望で目標人口を達成するために想定している合計特殊出生率

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

①子育て支援 〔子育て世帯に寄り添う支援〕

- ・ 次世代を担う子どもたちを地域で育む子育て支援センターやファミリー・サポートセンター事業の充実を図るとともに、ニーズの高まる保育所や学童保育（放課後児童健全育成事業）で待機児童を出さないように施設の充実で量を確保し、民間事業者等と連携するなどして質の向上に取り組んでいきます。
- ・ **子どもを養育する保護者の経済的な負担を軽減するため、中学校修了まで小児医療費を助成するほか、子育て世帯支援事業（水道料金の補助）や給食費の助成を継続するなど、本町独自の支援施策を進めます。**
- ・ 安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めるために、特定不妊治療や不育症治療に係る助成の充実を図るとともに、妊婦健康診査補助や保健師等による訪問相談など総合的な支援を継続します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 (平成 31 年度)
保育所・学童保育の待機児童数	H27 年度 0 人・0 人	0 人・0 人
子育て支援センター等の利用者数	H26 年度 5,810 人	7,000 人 14,000 人

②教育・生涯学習 【地域で育む松田を愛する豊かなひとづくり】

- ・家庭、学校、地域が一体となって次世代を担う子どもの教育環境を整え、ふるさとを愛し、豊かな人間性とたくましく生きる力を育みます。
- ・子どもたちが安心して学べる環境づくりに向けた学校施設の整備等を、町民の意向や将来像を踏まえて進めます。
- ・学校ICT環境の整備や英語教育の充実など、特色ある教育環境の強化・充実を図り、児童・生徒の学力向上を進めます。
- ・子どもたちの個々のニーズに対応した学習支援員や介助員の配置を、本町の独自事業として継続します。
- ・町民マイスター（名人）認定制度を制定し、人材や資源の掘り起こしと活用を図り、町民の誇りの醸成、後継者の育成を進めます。
- ・町民マイスター（名人）認定制度を活用し、松田の有する自然や文化を、貴重な教材・資源として活かした総合学習授業など、町民や幼稚園、小学校・中学校に出前講座を実施します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値		目標値 （平成31年度）
ICT環境を活用した授業の割合（年間）	H27年度	20%	80%
町民マイスターによる出前講座等の実施数	H27年度	20回	24回

※本町の子育て支援・教育施策の概要 （ ）内は予定している新規事業

①子育て支援

- ・特定不妊治療費助成（・不育症治療費助成） ・妊婦健康診査費用の補助
- ・すくすく育児、おっぱい相談 ・風しん予防接種助成 ・小児医療費助成
- ・ひとり親家庭等医療費助成 ・就園料補助金 ・チャイルドシート購入補助
- ・ブックスタート事業（・子育て世代包括支援センター事業 *仮称：子育て相談室） ・子育て支援センター、ファミリーサポート事業 ・保育所一時預かり保育 ・学童保育 ・通学バス定期券購入助成

②教育環境の充実と支援

- ・学校ICTの環境整備 ・給食費保護者負担軽減措置補助 ・学校警備員配置
- ・防犯ブザー、ランドセルカバーの配付 ・防災備品の備蓄 ・学習支援、介助員の配置 ・幼小中の完全給食：自校調理方式 ・町立幼稚園での3年保育と無料送迎バス運行 ・幼稚園預かり保育 ・幼児運動能力向上事業

基本目標Ⅲ だれもが快適に暮らせる環境づくり

【目 標】

緑と清流に代表される豊かな自然のもと、交通の要衝として歴史を重ねてきた本町では、町民のだれもが生き生きと快適に暮らせる環境づくりを進めています。

特に、町の顔でもある新松田・松田の両駅周辺については、神奈川県西地域の北の玄関口としての**広域的な役割**や将来のあり方を念頭に、町民のニーズや**トレンド**を反映した**賑わいの拠点を創出し**、従来の駅周辺イメージを一新させる面的な整備を推進するとともに、一方で古くから私たちに多くの恵みをもたらしてきた里地里山という財産を次世代に引き継ぎます。

また、おもてなしの理念を浸透したなかで、ゴミのない美しい町を目指し、豊かな自然・生活環境を保持するため、地域のつながりを再確認し深めていきます。

さらに、地域の福祉や文化活動の充実が図られるようにボランティア等の人材育成を図り、やりがい生きがいに高めていきます。

●数値目標：アンケート調査で「松田町は住みよい」と回答する町民の割合

基準値(平成25年度) 68.8% ⇒ 目標値(平成31年度) 75.0%

※基準値は、まちづくりアンケート調査において、「とても住みよい」「どちらかと言えば住みよい」と回答した町民の割合

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

①都市基盤 〔都市基盤の整備と里地里山の保全〕

- ・新松田駅南口駅前広場等の効率的・効果的な整備を進め、早期完成を目指します。
- ・**県西地域の玄関口となる新松田駅北口周辺整備の在り方についての検討と併せて、事業実施に向けた調査・計画を着実に進めます。**
- ・駅周辺整備の移行期間での暫定的な取り組みとして、待合や休憩、トイレ及び喫茶、食事空間等の確保を進め、駅周辺の快適、安全、利便性付与対策を図り、駅利用環境を整え、交流人口の増加を図ります。
- ・**駅周辺整備の一環として、近接エリア内における既存公共施設等の機能や役割を広域的な観点から見直し、新たなサービスや賑わいが連携する拠点を創出します。**
- ・**近年その機能が失われつつある、人と自然が形成してきた寄地区での里地里山を保全し、農林業の生産の場や生活の場として再生・活用していきます。**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 (平成31年度)
新松田駅・松田駅における定期外乗車人員数（年間）	H25年度 新松田駅 1,697,738人	新松田駅 1,770,738人
	H25年度 松田駅 502,559人	松田駅 520,759人
神奈川県里地里山の条例に基づく協定認定団体数	—	H31年度までに 2団体

② 生活環境 【クリーンで豊かな生活環境を守る】

- ・町民が安心して通行・利用できる道路歩行空間の確保を進めます。
- ・寄地区における生活排水処理施設の整備を計画的に進めます。
- ・地域における自主的な清掃活動や花の植栽活動が広がるよう支援するとともに、おもてなしの精神でボランティア等によるクリーンキャンペーンを推進します。
- ・ホテルが生息している自慢できる豊かな環境を維持していきます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成 31 年度)
クリーンキャンペーン実施回数 及び参加者数	H25 年度 2回 679 人	2回 800 人
花の植栽活動実施箇所数	H26 年度 56 箇所	70 箇所

③ 健康・福祉 【つながって支えあう元気な町】

県西地域活性化 P・文化 C 複合拠点化

- ・健康増進計画に基づく、町民の健康づくり事業を広く展開し、町の各種健康診査の受診者比率を向上させるとともに、ICT機器や既存の施設・事業・資源を活用し、未病の見える化と治す・改善に向けた新たな施策（スポーツ等）を積極的に推進します。
- ・医療機関をはじめ、関連団体との連携を図りながら、未病への取り組みを進め、健康寿命の長いまち、町民一人ひとりが自分の望む人生を地域で全うできるまちを目指します。
- ・地域包括ケアシステムの構築を進め、地域が主体となった「たすけあい」「ささえあい」の体制づくりを進めます。
- ・地域包括支援センターの機能強化とともに、介護等に伴う高齢者向けの相談や地域支援事業の充実を図ります。
- ・地域での高齢者や障害児者の災害時避難等の支援体制づくりを進めます。
- ・地域福祉に資する事業の開発・導入、事業所誘致と連携を進めます。
- ・既存のハイキングコースなどを活用して、健康づくりにつながるクアオルトづくり（気候性地形療法による健康保養地）を進めます。

文化 C 複合拠点化

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成 31 年度)
健康づくり事業・介護予防事業への参加者数（年間：延数）	H26 年度 健康づくり 1,131 人	健康づくり 1,500 人
	H26 年度 介護予防 5,399 人	介護予防 6,500 人
特定健康診査受診率	H26 年度 25.5%	35.0%
地域での助け合い・支え合いの体制組織数 ※地域の茶の間・居場所（自治会数）	H26 年度 17 箇所(20 自治会)	全地域(自治会) を網羅

④地域活動 【手作りの活動への支援】

- ・おもてなしの観点から各種事業のボランティア力を高めるとともに、指導者を発掘するなど、様々なサークル団体等の育成・支援を進めます。
- ・**松田町の地域文化を保存・継承していくために、文化活動団体の育成と会員数の増加に向けた取組みを進めます。**
- ・身近な地域で活動団体を育成していくとともに、活動への支援を継続して進めます。
- ・地域活動の核である自治会において、主体的で特色ある運営や活動を支援します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値		目標値 (平成 31 年度)
自治会加入率	H26 年度	94.38%	96%
文化・スポーツ活動団体等の組織数	H26 年度	82 団体	82 団体

⑤町民参加 【町民の声が響き、まちづくりの夢がかなう町】

- ・町民の責務や町づくりへの参画を規定する松田町自治基本条例（仮称）を定めたなかで、町民の身近な意見や提案等を把握し、行政運営に反映していくため、地域懇話会等を定期的で開催します。また、ワークショップなどを通じて町民参加を促進しながら、町民と一体となった協働のまちづくりを進めます。
- ・広報紙、公式ホームページ等の媒体や、気軽にまちづくりについて語れる場の提供などを通じて、町民の様々な意見や声を聴く場の充実を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値		目標値 (平成 31 年度)
地域懇話会への参加者数	H27 年度	223 人	350 人
町民からの意見・提案の数	H27 年度	129 件	150 件
公式ホームページへのアクセス数	H26 年度	274,518 件	400,000 件

基本目標Ⅳ 松田町の活力につながる産業・交流づくり

【目 標】

本町では、人口減少等に伴い産業力が低下傾向にありますが、潜在的な資源を見直し、磨きをかけて輝かせ、販売等の新たな仕組みづくりを進めながら、各種産業の振興を目指すとともに、自然環境や立地特性を生かした観光事業で交流人口の増加に取り組んでいます。

農業については、鳥獣被害対策を充実するなかで、**荒廃農地や後継者問題を、販路の拡大や6次産業化などの新たな手法を取り入れ、魅力ある（収入を確保できる）産業としての復活を目指していきます。**

YHV 推進

商工業については、専門家等の知見を取り入れながら、様々な機関と連携及び支援体制を確立し活性化を推進します。

観光においては、おもてなしの精神で来町者に感動を与える体制を整備し、ブランド化した松田の魅力を、積極的かつ広範な広報活動を実施します。また、より多くの観光客を誘客するためには、外国人観光客の呼び込みも視野に、神奈川県や近隣市町との広域的な連携による取り組みを推進します。

県西地域活性化P・YHV 推進
・文化C 複合拠点化

●数値目標：商工業販売・出荷額（商業・工業統計調査による）

基準値 188.9 億円 ⇒ 目標値(平成31年度) 250.0 億円

※基準値は、平成23年工業統計、平成24年商業統計調査の結果（合算）となります。

●数値目標：観光入込客数（神奈川県実施調査による）

女性活躍コンパクトシティ
・YHV 推進

基準値(平成26年度) 556 千人 ⇒ 目標値(平成31年度) 860 千人

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

①農林業 「魅力あふれる「農・林業」の創造」

YHV 推進

- ・鳥獣被害対策を充実し、荒廃農地の利活用を図り、農業生産基盤の保全を進めます。
- ・農作物の販路を拡大するために、町内における販売所の設置やICTを活用した販売手法を導入するとともに、農業を中心とする新たな6次産業化の創造を進めます。
- ・町民をはじめ、来町者が農・林と触れ合える観光面と連携した環境づくりを進めます。
- ・未病を治す観点から、農作物の中で健康に効能を有する物の栽培を促進します。
- ・神奈川県が推奨する搬出間伐を進め、山林整備と木材生産量の増加を目指し、木質バイオマスの有効活用を図ります。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値 (平成31年度)
農業の新規就業者数	H26 度 0 人	平成31年度までに 4 人
農産物販売金額（農林業センサス）	H21 年度 84,250 千円	100,000 千円

② 商工業〔復活を目指す商工業〕

YHV 推進

- ・松田町の特性を活かした特産品の開発を進め、地産地消はもとより地産外消に向けた販路の拡大、アンテナショップへの売り場の確保や多様なイベントにおける町ブースの出店、ICTなどの活用を積極的に進めます。
- ・桜まつりや観光まつりなどのイベント時に、観光客が町内を回遊したくなるような商店街等の整備を促進します。
未病いやしの里・文化C複合拠点化
- ・新松田駅周辺等の基盤整備事業に伴う商店街活性化に向けた検討を、立地の優位性や女性の視点を大事にしながら進めます。
- ・買い物不便地区の解消に向けた移動販売業者への経営を支援します。
- ・金融機関、商工会、近隣自治体等と連携して、中小企業や個人事業主へ創業・事業承継等に係る支援を進めます。
- ・一定規模の町有の未利用地における企業誘致を推進します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成31年度)
松田町外における特産品の販売額	H26年度 700千円	6,000千円
松田町特産品開発事業補助金利用数	H26年度 2件	4件
町内における起業件数	—	平成31年度までに 8件

女性活躍コンパクトシティ・YHV 推進

③ 観光〔ブランド力の向上とオール松田でおもてなし〕

- ・松田町であまり知られていない既存の観光資源を再発見しスポットを当てるとともに、新たな観光資源等を発掘して磨き上げ、各種資源が連携するよう積極的な活用を図ります。
未病いやしの里・文化C複合拠点化
- ・松田地域及び寄地域の特性や環境を活かし差別化した観光・交流事業の推進・プログラム体制づくりを民間のノウハウを採り入れ自走可能なスキームを念頭に進めます。
YHV 推進
- ・近隣自治体との連携による「あしがらブランド」としての情報発信や取り組みを推進し、未病をはじめとするキーワードにより県西地域の知名度向上と活性化を図ります。
未病いやしの里・文化C複合拠点化
- ・2020 東京オリンピックやラグビーワールドカップ 2019 などによる訪日外国人への対応を含めた国際交流を積極的に進め、人財育成と環境（体制）整備の側面から広域的に推進します。
文化C複合拠点化
- ・松田町のPRに向けた松田ブランド品の認定を進めるとともに、みかんやお茶、足柄牛など地場産品の積極的なPRと販売を進めます。
- ・鳥獣駆除で捕獲したシカやイノシシの肉をジビエ料理に活用する体制の整備を進めます。
YHV 推進
- ・オール松田「おもてなし」宣言に基づく、おもてなし事業を町民や企業等と一体となって推進します。
- ・松田町に訪れる方々を、おもてなしするために、分かりやすい観光案内板や道標の

- 設置、ベンチやトイレ、W i F i等の施設整備を進め、利用環境の充実を図ります。
- ・観光に関する情報発信については、公式ホームページや観光協会ホームページを充実させ、ソーシャルメディア等の手法も活用しながら、積極的で有効な広報戦略を展開します。
 - ・輸送力や発信力といった強みを持つ交通事業者と、各種のイベント等における連携を強化していきます。

YHV 推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (平成 31 年度)
<u>松田町観光メール登録者数</u>	<u>H27 年度 358 人</u>	<u>1,000 人</u>
<u>観光客宿泊者数</u>	<u>H26 年度 3,456 人</u>	<u>5,000 人</u>
<u>松田ブランド認定品の売上額</u>	<u>—</u>	<u>12,000 千円</u>